

Vol. 136 片倉ダム展望台に上がる —来春は大園遊会を提案する— (平成 20 年 5 月 25 日)

4月23日、亀山の伊原会員から片倉ダムへできた展望台をぜひ見に来てくれと誘われて行きますと、現地には武次副市長、高橋君津警察署長、川名県議、加藤市議をはじめとして女性の方達30名余りが出迎えてくれました。

この日、目についたのは警察署に新設された山岳救助隊の方々は5名同行してくれたことでした。

桜が咲き終えた衛士公園はよく手入れが行き届いていて、まさに公園というよりも庭園の美しさでした。

この公園に沿って行き、左へ曲がると君津衛星管制センターへぶつかり、右折すると老夫婦が山菜料理を食べさせてくれる山桃亭へと着きます。少し手前にある展望台への案内板を左へ幾重にも曲がる細い上り道を行くと坂道は段々と急になり、登り始めてから高さはせいぜい30m余りくらいの高さと思われたが、最後は全くの胸つき八丁。女性の方が私に杖を貸してくれて、やっと辿り着きました。

一息入れて展望台から見る風景は疲れを吹き飛ばすに十分な景観でありました。

すでに桜は終わっていましたが、常緑の山景に、湖に生える春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の湖「東山魁夷の絵」を想像させるすばらしい美しさでありました。

帰り道は北側下山道を下って、ツウタ親水公園へと着きました。ここはまた湖面を囲んだ広々とした西欧風の庭園でありました。片倉にはこんなすばらしい風物が隠されていたのかと初めて知りました。

帰りに地元の方から感想と提案をと求められて「片倉ダムに内蔵された景観は私を始め多くの市民がまだ知らないでしょう。来春の桜の季節には、市民、政財界、各種団体に呼びかけられて『君津市民春の園遊会』を考えてみませんか？市民が一同に集まる機会をこの美しい片倉の芝の上でさせてもらいたいものです。」と申し上げました所、参加者の方々が歓声を上げて大賛成をして下さいました。

鶴岡委員長、加藤市議が来年は鴨川市にもよびかけて必ず実現させるよと反省会の席上で約束をして下さいました。

来年の春の「園遊会」が大変楽しみであります。

是非「活性化きみつ」の新しい催しとなって育ってほしいものです。

この場所からほんの少し鴨川へ下ると、道路脇に「千寿の湯」と言う旗が何本も見えます。ここの駐車場（県立）から右下へ下りますとここは清水溪流公園、濃溝洞窟の滝があり、養老溪谷以上の美観があります。

ここから湧き出る温泉は、昔からよく効くと言われています。

清水溪流公園は名の通り、大自然が作った静かな美しい谷間の公園であります。

もうまもなく菖蒲の花が咲く頃であります。中国の長卓宴を思わせる、ここの板作りの橋の曲折は設計者の美学を称賛したい。是非「ハダシ」で歩いてみて下さい。片倉から帰り路、いつも目につく大井戸の赤い大鳥居です。

外来の観光客は尚更と思います。上総高校と連携して「ほおずき市」とか「朝がお市」はできないでしょうか？浅草ほおずき市は7月8日、9日です。